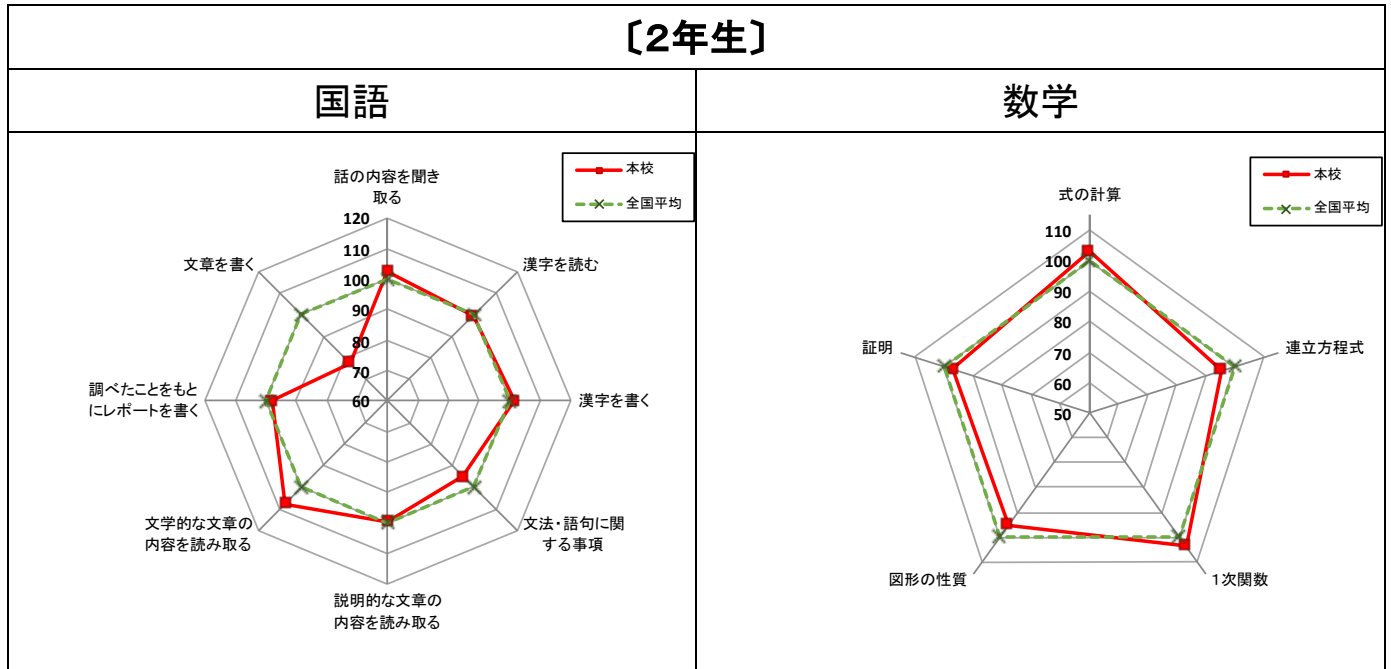


# 令和4年度釧路市標準学力検査の結果分析について〔釧路市立景雲中学校〕

令和5年2月6日

過日、令和4年12月に実施しました標準学力検査の結果が届きましたので、本校の結果を分析し、今後の対策や教育活動等の改善について検討したところです。つきましては、その概要と今後の取組の方向性をお知らせいたします。すでに配付している個人票とあわせてご覧いただき、学習や生活の見直しに活用していただけるようお願いいたします。

レーダーチャートは、各教科の問題内容の目標値を100とした場合の本校及び全国平均の状況を示したものです。



### 【分析】 ○成果 ●課題

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内平均正答率は、全国平均正答率より2ポイント低かったが、目標値を超え、前年度校内平均より6ポイント上がっている。</li> <li>○ 前年度校内平均と比較すると、全体で6ポイント、特に基礎の内容で10ポイント上がっている。</li> <li>○ 6つの内容で全国平均正答率とほぼ同程度がそれ以上で、特に「文学的な文章の内容を読み取る」は5ポイント上回った。</li> <li>● 「文法・語句に関する事項」「文章を書く」2つの内容で全国平均正答率より低く、とくに「文章を書く」は13ポイント下回った。</li> <li>● 前年度校内平均と比較すると、活用が1ポイント下がり、「情報の扱い方に関する事項」は9ポイント下がっている。</li> <li>● 記述式の問題すべてにおいて、全国平均正答率より7～18ポイント下回っていて、無解答率はどれも30%以上を占めている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内平均正答率は、昨年度全国平均正答率を4ポイント下回っていたが、今年度0.1ポイント上回り、改善傾向にある。</li> <li>○ 問題内容別では「式の計算」と「1次関数」で、観点別では「知識・技能」で全国平均正答率を上回った。</li> <li>○ 評定1,2の生徒の割合は昨年度と変わらないが、4,5の生徒の割合は、昨年度の33%から40%に増えた。</li> <li>● 「図形の性質」で全国平均正答率を3ポイント下回り、特に平行線と同位角・錯角の関係や正多角形の性質から角度を求めることに課題がある。</li> <li>● 昨年度の校内平均正答率と比較すると、「活用」で、また観点別では、「思・判・表」と「主体的に学習に取り組む態度」で、15ポイント程度下がっている。</li> <li>● 説明を完成させたり、条件を満たす事柄を表現したりする問題の無解答率はどれも66%程度と、非常に高かった。</li> </ul> |
|---|---|

### 生活行動・学習活動調査の結果から

- 「朝食や夕食をきちんと食べている」「挨拶をしている」の肯定的な回答の割合は全国と同程度で、90%以上を占めている。
- 「自分は、「友達から先生から・家の人から」認められてると思う」の肯定的な回答の割合はどれも全国を上回り、70～80%を占めている。
- 「自分の力をできる限り伸ばしたいと思う」の肯定的な回答の割合は全国と同程度で、90%を超えている。
- 「将来の夢や目標をもっている」の肯定的な回答の割合は63%で、全国より7ポイント以上低い。特に、学力検査正答率の下位層の肯定的な回答の割合が最も低い。
- 「自分のことが好きである」の肯定的な回答の割合は、全国と同程度であるが、45%程度にとどまっている。
- 平日の就寝時刻が全国よりも遅い傾向にあり、11時を過ぎる回答は70%を超える。その中でも12時を過ぎる回答は33%。一方で、平日の学校以外での学習時間は、1時間未満の回答が45%ほどあり、「ほとんどしない」の回答は20%あった。

### 【今後の本校の取組】

- ◎ 話し合いを通して聴き合う関係を築き、「協働的な学び」の基盤となる学びに向かう学習集団づくりを目指します。
- ◎ 授業においては、どの教科でも「学び合い」「教え合い」の場面を設定し、仲間とともに思考したり自分の考えを表現したりして、思考力・判断力・表現力を伸ばします。
- ◎ とくに授業の導入では、問題を工夫して「なぜだろう」「やってみよう」と前向きに取り組めるような課題を生徒と一緒に設定します。
- ◎ 授業の終末では学習内容を振り返る場面を設定し、わかったことや疑問、学習内容をどう生かすかなどを共有し、学習内容の定着だけでなく個々の学びに向かう態度を育てます。
- ◎ 各教科で各場面を設定し、「指定された条件で書くこと」の改善を目指します。
- ◎ 総合的な学習の時間(DT)や学校行事を有効に活用し、将来の夢や目標を持ち、地域社会に尽力しようとする生徒を育てます。

### 【家庭にお願いしたいこと】

- ◎ 就寝時刻が遅い一方で、学習時間が短い傾向にあります。生活リズムと学習習慣の確立のためのお声かけをお願いします。
- ◎ 就寝時刻が遅いことや学習時間が短い一因として、スマホなどによるSNS利用や動画視聴などが考えられます。お子さまの状況を把握していただき、適切な範囲での使用となるようご指導をお願いします。

